



慶野松原海水浴場が、快水浴場百選の特選に



▲海水浴場の清掃に勤むボランティアの方々

快適に泳げる海や湖、河川など全国で百か所の水浴場を「快水浴場百選」として環境省が選定、うち慶野松原海水浴場など特に評価が高い十二か所が「特選」として認定を受けました。

同海水浴場は、国の名勝の指定や日本の渚百選、日本の

夕日百選、日本の海水浴場八十八選に選ばれるなどの「優れた自然景観」、監視員や救護施設、警察官の巡回などの「安全性」、中学生による松の植栽や清掃ボランティア活動などの「保全活動」が高い評価を受けました。

社会教育センターに瓦モニュメント 車進入防止用として

西淡社会教育センターグラウンドと道路を隔てる境に、長さ約二十m、高さ一mの瓦モニュメントが設置されました。

このモニュメントは松帆古津路老人会グラウンドゴルフ会（波戸政義代表、二十五人）により整備され、五月三十日に完成しました。

同グラウンドは、慶野松原海水浴場に隣接していることから、水上オートバイなどを積んだ車に進入されやすく、また元々あったコンクリート製の柵も壊れており、管理に

支障が生じていました。これを受け、同会が柵代わりとなる瓦モニュメントを計画、設置を市に申し出ました。

五月上旬から五千枚の淡路瓦とコンクリートを使って整備を進めていました。材料となる瓦は、瓦製造業を営む会員から無償提供を受けました。波戸代表は「車の進入だけでなく、ゴミを捨てる人も多い。夏場になると毎週土日は半日がかりで清掃作業をこなしてはならない。利用者はマナーを守ってほしい」と話し



▲瓦モニュメントを整備する地元老人クラブの皆さん

市民の命を守る防災計画を協議



▲地域防災計画を協議する関係者

南あわじ市防災会議が六月二日、中田勝久南あわじ市長を会長に防災関係機関の代表者を委員として開催され、地震や風水害などの自然災害に関して総合的な指針を定めた地域防災計画案を協議しました。

計画案は、風水害対策編、地震対策編、東南海・南海地震防災対策推進計画、資料編で構成され、平常時から行う防災知識の普及や災害発生時の素早い避難などに「市民の

南あわじ市防災会議

命を守る「減災」対策」などが示されています。

市民には三日間の飲料水や食料の備蓄、住宅の耐震化を求め、市では大規模災害を想定した食糧確保を計画しています。

同地震防災対策推進計画では、沿岸部での防災対策を講ずべき地域を掲げ、それぞれに予想津波高や到達時間が示されています。計画案は、県による審査を経て年内に決定する予定。

統合高校に8学級確保要望

南あわじ市連合PTA（山口浩会長）では六月十二日、市内の県立高校二校が来年四月に統合し誕生する統合高校に一学年八学級確保を求める署名を県教育長に提出しました。

三原高校と志知高校の定数は合わせて七学級二百八十人で、市内中学校の卒業生の半数以上が市外への通学を余儀なくされていることから、五月二十一日の同PTA総会で

3万4千人の署名を提出

統合高校の定員を一学級四十人増やす要望を決議。これを受け、同月三十日からPTA会員らが中心となり市内全戸を対象に署名活動を展開しました。

この日は、同PTA役員ら二十三人と中田勝久市長、中村三千雄市議会議長が県庁を訪問し、三万四千二百八十六人の署名を吉本知之教育長に提出しました。また、齋藤富夫・五百歳俊彦副知事にも直

接面会し、要望しました。



▲8学級確保を求めた34,286人の署名を提出する市連合PTA役員ら

年金だより 保険料の免除制度が変わります

新たに「多段階の一部納付（免除）制度」を追加しました。

これまでの免除制度は、①全額免除、②半額納付、③若年者納付猶予がありました。これに加え、七月から一部納付制度として、「四分の一納付」、「四分の三納付」が新設されました。

▽注意点 一部納付制度で納付されなかった場合、未納期間扱いとなるため、将来の老齢基礎年金の資格・額には反映されません。また、万が一の時の障害基礎年金や遺族基礎年金を受給できない場合があります。

▽申請先 総合窓口センター、出張所、連絡所
圓明石社会保険事務所
☎078・912・4916

1か月の一部納付額等（平成18年度）

免除の種類	一部納付額	免除される額
4分の1納付	3,470円	10,390円
半額納付	6,930円	6,930円
4分の3納付	10,400円	3,460円
若年者納付猶予（30歳未満の方）	ご負担はありませんが、将来の年金額には反映されません	

防災ひとくちメモ
台風シーズンを控え
土石流災害に注意

防災課 ☎43-5006
南あわじ市防災ネット
<http://bosai.net/minamiawaji/>

土石流災害について

山腹や川底の石や土砂が、長雨や集中豪雨などの大量の水といっしょになって津波のように襲ってくるものを「土石流」といいます。

危険な場所は、谷川に大きな石がゴロゴロあるところや裏山に急な谷川があるところ、扇状地。

がけ崩れ災害について

「がけ崩れ」は、斜面が突然崩れ落ちる災害です。崩れた土砂は、斜面の高さの二、三倍も離れた所まで届くことがあります。

危険な場所は、がけにひび割れが発生しているところやがけの上部がせり出しているところ、急ながけで高いところ、がけから水が湧き出したり、がけの表面の水が流れているところ。

地すべり災害について

地面は固さや性質が違う土や石がいくつもの層になって、積み重なってできています。地下水が粘土のような、すべりやすい層にしみ込み、

防災出前講座を実施中

学校や企業などを対象に出前講座を実施しています。詳しくは、防災課までお問い合わせください。



▲志知高校での防災出前講座の様子